

湖西市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2026 令和8年4月

1 目標

湖西市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施済者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、一般住民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。このため、湖西市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2 位置付け

アクションプログラムは、湖西市耐震改修促進計画第2章第1に基づき策定する。

3 取組内容・目標・実績

	令和8年度取組内容	令和8年度目標
計 画	【財政的支援】 i) 住宅の耐震改修費（補強設計費等含む）に対する補助を実施。 ii) 耐震シェルター・防災ベッドに対する補助を実施。 【普及啓発等】 i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進 ・ 令和8年度は約100戸の戸別訪問を実施予定。 ・ 令和8年度も継続してDMを送付。耐震シェルターおよび防災ベッドの啓発も含め実施予定。 ii) 耐震診断実施済者に対する耐震減災化促進 ・ 窓口相談時等にリーフレットの配布・説明等により耐震減災化の促進を図る。 iii) 改修事業者の技術力向上等 ・ 改修事業者に対する耐震改修工法等に係る説明会を年1回以上実施（県と連携実施）。 ・ （改修事業者団体等により）耐震改修事業者リストを作成し公表等を実施（県と連携実施）。 ・ 静岡県耐震補強相談士リストを作成し、公表する。 iv) 一般への周知普及 ・ 耐震減災化の必要性の周知を実施。 ・ 市の広報誌による制度の周知を実施。 ・ リーフレットにより制度概要等の周知を実施（県と連携実施）。	住宅に対する耐震改修促進事業費補 耐震改修工事費補助戸数： 5戸 除却費補助戸数： 2戸 移転費補助戸数： 2戸
		前年度までの実績 令和7年度 ・ 住宅に対する耐震診断費補助戸数：5戸 ・ 住宅に対する耐震改修促進事業費補 耐震改修工事費補助戸数： 8戸 除却費補助戸数： 0戸 移転費補助戸数： 0戸 ・ 建築物の耐震化： 1戸 ・ 耐震シェルター： 1戸 ・ 防災ベッド： 1戸 令和6年度 ・ 住宅に対する耐震診断費補助戸数：82戸 ・ 住宅に対する耐震改修促進事業費補 耐震改修工事費補助戸数： 3戸 除却費補助戸数： 0戸 移転費補助戸数： 0戸 令和5年度 ・ 住宅に対する耐震診断費補助戸数：19戸 ・ 住宅に対する耐震改修促進事業費補 耐震改修工事費補助戸数： 2戸 除却費補助戸数： 5戸 移転費補助戸数： 0戸
自 己 評 価	前年度（令和7年度）の取組実績 【財政的支援】 ・ 住宅の診断5件、改修8に補助を実施 【普及啓発等】 i) 耐震診断実施済者のうち耐震改修未実施者に対して、100戸の戸別訪問を実施。 ii) 市内の全住宅所有者に対し耐震改修促進のチラシを送付。 iii) 耐震改修事業者に対する耐震改修工法等に係る講習会を年1回実施（県と連携実施）。 iv) 市役所窓口や説明会などにおいてリーフレット等の配布及び広報紙等による事業の周知・啓発を実施。	前年度（令和7年度）の課題 未耐震化住宅の所有者の高齢化が進む中、経済的負担に加え、高齢世帯特有の生活上・心理上の負担や手続きの煩わしさ、耐震化の必要性を実感しにくいことなどが重なり、耐震化の推進が鈍化している。 改善策 耐震化希望者のニーズに応じて、補助制度の説明・案内を徹底し、耐震化を促進する。また、耐震化の選択が難しい方には命を守るための減災化補助事業の案内も併せて行う。